



## お知らせ(3)・・・居合道 学科試験問題(令和4年度・5年度)

### <初段>

1. 「居合道を始めた動機と今後の目標」について述べなさい。(50点)
2. 「五行の構え」について述べなさい。(25点)
3. 「刀を図示し、各部名称」について述べなさい。(25点)

### <二段>

1. 「居合道で礼儀を大切にする理由」について述べなさい。(50点)
2. 「全日本剣道連盟居合一本目、二本目、三本目の要義」について述べなさい。(25点)
3. 「気・剣・体の一致」について述べなさい。(25点)

### <三段>

1. 「居合道修行で得たもの」について述べなさい。(50点)
2. 「全日本剣道連盟居合四本目、五本目、六本目の要義」について述べなさい。(25点)
3. 「目付」について述べなさい。(25点)

### <四段>

1. 「居合道指導上の留意点」について述べなさい。(50点)
2. 「全日本剣道連盟居合七本目、八本目、九本目の要義」について述べなさい。(25点)
3. 「手の内」について述べなさい。(25点)

### <五段>

1. 「居合道審判員の心得」について述べなさい。(50点)
2. 「全日本剣道連盟居合10本目、11本目、12本目の要義」について述べなさい。(25点)
3. 「呼吸と間」について述べなさい。(25点)

## 学科試験

- 1) 初段～五段まで学科試験内容が異なっている。
- 2) 試験問題は指定のA4用紙にボールペン等で事前に清書して、当日提出。
- 3) 試験回答用紙は長崎県剣道連盟HPにも掲載。(ダウンロード可能)
- 4) 講習会受講の特典での段位審査における学科一部免除項目は廃止。
- 5) 学科試験採点は段位審査会実技終了後に審査員が採点。

## 読みもの(1)・・・山本晴介、「居合の稽古はゴザ一枚でできる」

山本晴介(やまもと はるすけ) 全日本剣道連盟居合道範士九段、剣道教士七段。流派は無双直伝英信流。

### 無双直伝英信流居合道

山本晴介は24歳(大正6年)より大江正路に師事となっている。山本晴介は自宅の中庭で一人、木刀を振り、刀も抜いていた。人目のつかない中庭で「居合の稽古はゴザ一枚でできる」を口癖にして毎日、稽古を欠かさなかった。剣道が昭和28年に復活し、昭和32年戦後初の四国剣道大会において、山本晴介と政岡壱實が模範演武をした。この無双直伝英信流の動きの素早い奥義を目の当たりにし、人々は息をひそめて見守っていたという。大江正路ゆずりの早業は、流れるような静と動が入れかわり、背筋のピンと伸びた姿の美しさがあったという。

### 山本晴介の指導法

山本晴介の指導法は根本的に師である大江正路の指導法がある。山本晴介の業は大江正路そのままといわれるほどだった。大江正路は土佐・英信流を無双直伝英信流として整理し、近代化し、大正中頃から昭和にかけ、講習会を開いては土佐・英信流の命脈を後世に伝えるべく腐心した。居合道の指導においてもその日教える分だけ抜いてみせるとあとはやらせて、たまにポイントを指示した。そして最後にならず誉めた。初心者のうちにはなにもかもうまくいかないと思っているのに「今日はよかった」と山本晴介がいうので、「先生、どこが良かったですか?」と疑いながら聞いてみると「全体的に良かった」と言った。こう堂々とサラリと言われると、気持ちよく帰れたという。ほめるが、ほめっぱなしでない。他の人のいないとき、その人の業の欠点、直すべきことをわかりやすく説いて聞かせる。年齢や居合道修行の段階に合わせ、弟子の個性や特徴にも気を配っていたという。「居合はスーピン、スーと抜いてピンと切る。これを覚えよ」と初心者や子どもにわかるように教えた。高段者には「手で切るな腰で切れ、腰で切るな心で切れ」とか「書物では覚えられない、体で覚えよ」繰り返しの稽古を奨励した。



## 「居合とは 人に斬られず人斬らず 己を責めて 平らかな道」

### —— 居合道をはじめてみませんか？ ——

#### 居合道はどのような武道ですか？

居合道は、真剣または居合刀（模擬刀）で仮定の敵に対して、いかに早く抜刀し、納刀するかが、極意のように思われがちですが、本来は刀を抜かずして敵を従わせることで、すなわち「勝負は鞘の内にあり」と言われています。その精神は現代に至っても受け継がれています。そのことは「礼に始まり礼に終わる」しかも優雅にしてより格調高い理由なのです。相手との戦いを目的とせず「居合とは 人に斬られず人斬らず 己を責めて 平らかな道」と現代にふさわしい武道といえます。居合道は形武道ですので、杖道と同様に防具は一切使用せず、老若男女、身長、体重の区別無く一緒に稽古できるのも大きな特長です。また、「剣居一体」と言われるように剣道と表裏一体の関係にあります。



#### 居合道をはじめるといには何を準備すれば良いですか？

武具は真剣（日本刀）、居合刀（模擬刀）、稽古着は剣道着、袴、帯が必要です。購入に際しては、入会・入門先の指導者や先輩方に相談することをお勧めします。

##### 武具：刀

刀は真剣（日本刀）四段から五段で真剣を購入するのが平均的な例ですが高価な買い物になります。全日本剣道連盟の場合は六段以上の審査は真剣で受審。初心者は3万円～5万円の居合刀（模擬刀）をお勧めします。

- 1) 真剣（日本刀）、初心者は3万円～5万円の居合刀（模擬刀）、長さ：例 2尺4寸3分（78cm）、刀袋

##### 稽古着：剣道着、袴、帯

- 1) 稽古着：上下同じ色を着用する。剣道着（紺、白、黒）、下は袴を着用（紺、白、黒）・帯

			
袴袴（透かし）	日本刀（真剣）	袴	袴（透かし）

#### 居合道の試合はどのような試合ですか？

居合道には流派が多いため、従来は各人が演武を披露するだけでしたが、昭和41年の第1回全日本居合道大会では勝敗を判定し、優勝者を決めました。これを契機に昭和44年「全日本剣道連盟居合」7本が制定され、平成12年には12本になっています。居合道の試合は、2名の出場者が、真剣または模擬刀を用い、あらかじめ定められた全日本剣道連盟居合と各流派の形、合わせて5本を6分以内に演武し、その「修業の深さ」、「礼儀」、「技の正確さ」、「心構え」などを審判員が判定して勝敗を決します。杖道の試合は、二組が同時に指定された技を演武し、3名の審判により判定を下します。審判方法については、全日本剣道連盟の「居合道道試合・審判規則」によります。

	
全日本居合道大会 3位 畑中健佑	大阪居合道大会優勝 中村政樹
	
居合道県大会 段外の部（小学生）	模範演武（高木志伸部長）

#### 居合道をやっている人にはどんな人がいますか？

居合道をやっている人には、年齢や性別、体格、武道経験の有無にかかわらず、幅広い層の方がいます。

多くの稽古場では、年齢や性別に関係なく受け入れています。武道経験のない方も大勢います。世代も、小学生10代・20代の学生から、30代・40代の働き盛りの方、50代・60代のシニアの方と、幅広い層の方が稽古をしています。

稽古場により雰囲気はさまざまです。どんな人がいるか、雰囲気はどうかなのか、御自身で訪ねて確かめてみることをお勧めします。まず、自分が通いやすい稽古場・道場を探し、見学や体験入門を申し込んで、実際に御自身で訪ねてみてください。

問い合わせ：連絡先 (一財)長崎県剣道連盟 HP

「道場案内」または 居合道部長：高木志伸 メール shido120tanagata@gmail.com